



フォーバル、多摩信用金庫と顧客紹介契約を締結 ～地域企業の経営課題可視化と改善支援を強化～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、多摩信用金庫（本店：東京都立川市、理事長：金井 雅彦）と地域の経営課題解決を目的とした顧客紹介契約を締結したことをお知らせいたします。

株式会社フォーバルが多摩信用金庫と顧客紹介契約を締結



多摩信用金庫



協定の経緯と目的

フォーバルは、多摩エリアにおいて中小企業の経営状況を客観的な指標で可視化し、ESGやDXの観点から課題解決を伴走型で支援する取り組みを継続してきました。また、全国各地で自治体・金融機関・教育機関と連携し、地域企業の経営支援やDX・GX人材育成を推進してきた実績があります。こうした活動の中で、多摩地域にも経営課題を抱える企業が多く存在すること、加えて金融機関と連携することで支援の裾野をさらに広げられる可能性が高いことを認識いたしました。

今回の顧客紹介契約は、こうした背景を踏まえ、多摩信用金庫と協力して地域企業の成長をより強力に支援する体制を整備することを目的としたものです。多摩信用金庫は、同庫の顧客企業の中からフォーバルの支援が適合する企業を紹介し、フォーバルは紹介を受けた企業に対して面談・課題整理・改善提案を行い、必要に応じてサービスを提供することで、地域企業の持続的発展を後押しします。

協定の内容

フォーバルは紹介を受けた企業に対し、課題解決に向けた面談や提案を実施し、必要に応じて契約締結およびサービス提供を行います。提供する支援は、財務や業務プロセス、組織、人材、環境対応などの現状を分析し、経営課題を可視化する診断をはじめ、デジタル活用状況の評価とDX推進に向けた改善策の提示、ESG・人的資本など非財務領域の整理と重点課題の明確化、若手・次世代経営者の育成支援や事業承継の準備支援など、多面的な経営改善を伴走型でサポートするものです。

株式会社フォーバルとは

ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター(次世代経営コンサルタント)集団」であるフォーバル（資本金：41億 50百万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関・金融機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって永続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>